

くらし調う、 みやま有明。

どこまでも続く明るく大きな青空と
宝の海「有明海」へと広がる豊かな田園風景。

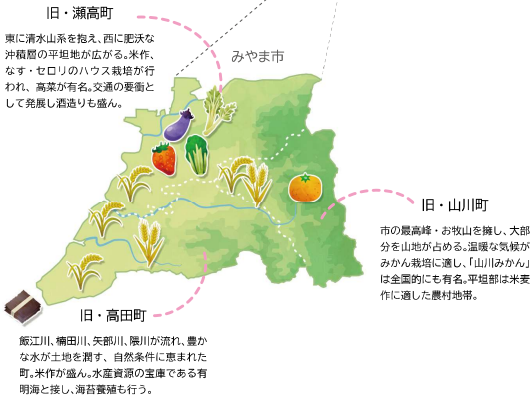
福岡県の南部、一級河川の矢部川と有明海と山に囲まれた
土壌豊かなこの地には、先人たちが大切に守り育ててきた
歴史・文化・風土が今も息づいています。

自信をもっておすすめできる
新鮮で美味しい農産物の数々や
職人技がきらりと光る特産品。

人や自然に対する「もやいの心」を大切に
地域で受け継がれているお祭などの伝統文化。

交通アクセスも抜群で
環境に優しいエコな取り組みも自慢。

人と人、人と自然、自然と自然の調和が図られた暮らしで
“ココロ”も“カラダ”もきつと「調う」、
みやま市のことをご紹介いたします。



31	30	27	26	22	19	18	17	15	13	12	11	9	7	5	3	1	目次
32	29	25	20	25	20	18	17	16	14	11	11	10	8	6	4	2	
マップ・交通案内	市民憲章	「行政・議会」 データで見るみやま	みやま暮らし④「健康・福祉」	みやま暮らし③「教育・文化」	みやま暮らし②「安全・安心なまちづくり」	みやま暮らし①「子育て」	みやま暮らし④「行楽地」	みやまのみどころ③「自然」	みやまのみどころ②「伝統文化」	みやまのみどころ①「歴史」	特集みやまブランド④「みやまの特産品」	特集みやまブランド③「資源循環のまち」	特集みやまブランド②「ワンヘルスのまち」	特集みやまブランド①「豊かな大地が生み出す恵み」	みやまってどんなまち？		



みやま市マスコットキャラクター
くしんき
みやまの木「クスノキ」のこどもの妖精。人々とふれあいたいながら、エコ活動や特産品のPRなど、みやまの魅力をたくさんの方に知ってもらうために奮闘中です。

みやま市は、平成19（2007）年1月29日に山門郡の瀬高町と山川町、そして三池郡高田町の3町が合併して誕生しました。

福岡県の南部に位置し、一部が熊本県と接しています。東部にはお牧山、清水山などの山々が連なり、中心部には広大な筑後平野が、西部には有明海の干拓によって開かれた低地が広がっています。全体として平坦な田園地帯で、空から見ると、いくつもの田畑が連なり、さながらパッチワークのようです。

面積は、福岡県内に60ある市町村の内、16番目の広さの105.21㎢。森林面積が20%と比較的小さく、耕地が40%と大きいことが特徴です。

温暖な気候で日照時間も長く、とても恵まれた環境。自然が豊かで、季節ごとに移り変わる美しい風景を楽しむことができます。

市の北から南西へ向けて流れる一級河川の矢部川を中心に、支流の飯江川、大根川などがあり、これらの河川がもたらす肥沃な土壌と豊富な水の恵みによって、農業のまちとして発展してきました。

交通アクセスは、JR鹿児島本線や西鉄大牟田線の鉄道路線が乗り入れ、5つの駅があるほか、九州新幹線の「筑後船小屋駅」もほど近く、有明海沿岸の市町を結ぶ有明海沿岸道路が走り、九州を縦断する九州自動車道の「みやま柳川IC」があるなど充実しています。福岡市、熊本市、佐賀市まで50分

圏内と、都市部への通勤通学やショッピングなどにも便利で、子育て世代やセカンドライフの移住・定住先としても暮らしやすいところです。また、立地条件の良さを生かし、企業誘致も積極的に推進しています。

平成21（2009）年には「あいさつ日本一宣言都市」を掲げました。元気にあいさつを交わすことで、人のぬくもりを感じられる明るい社会になることを目指して、市全体であいさつ運動に取り組んでいます。また、「人の健康・動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていく「ワンヘルス(One Health)」の理念を普及・啓発していくため、令和3（2021）年9月7日に全国で初めて「ワンヘルス推進宣言」を表明しました。

資源循環のまちづくり、産業の振興、安全・安心のまちづくり、子育て支援など、ワンヘルスの視点を取り入れた既存事業の推進や拡充を図りながら、新たな地域活性化にも取り組み、魅力ある「ワンヘルスのまち みやま」を目指します。